

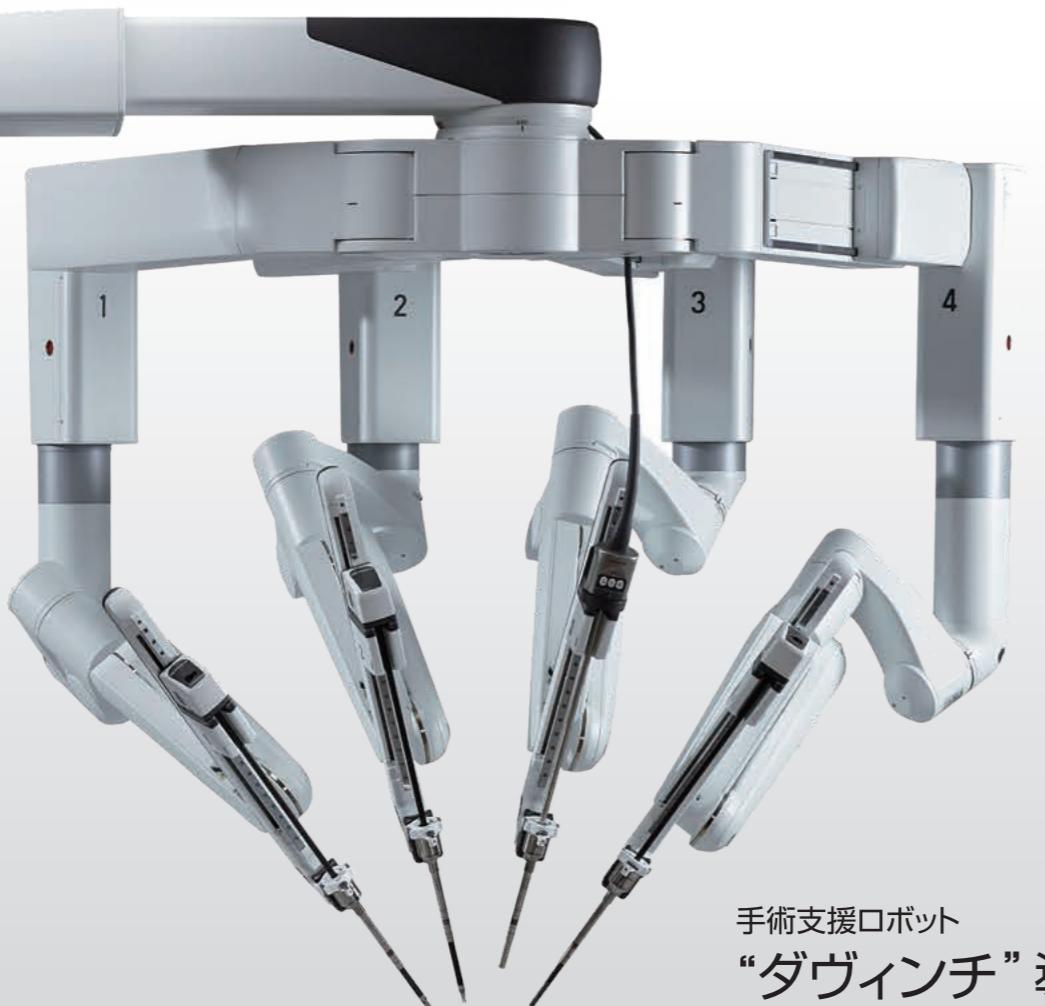
いのち、痛みに全力

地域医療により大きく貢献!!

CONTENTS

- ・低侵襲ロボット支援手術 ダヴィンチ
- ・第2回 当院のがん診療について
- ・認定看護師活動紹介 療養環境部門
- ・第31回 日本心疾患インターベンション治療学会

- ・食欲の秋! 季節を感じてリハビリの活力に
- ・緩和ケア研修会
- ・合同学術研究発表会
- ・医療連携医紹介



手術支援ロボット
“ダヴィンチ”導入

da Vinci® Xi
SURGICAL SYSTEM

基本理念 | 手には技術、頭には知識、患者様には愛を

基本方針 | 高度医療 学問的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

チーム医療 患者様の目線に立った安全で安心できるチーム医療を提供すべく、急性期医療から、早期リハビリ、退院支援までニーズに沿った医療を提供します。

地域医療 いつもだれでも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域の中核病院を目指し、地域の医療施設・福祉施設と密接な連携を推進します。

VOL 49

2021 / Nov

いのち、痛みに全力

福岡和白病院 広報誌
第49号 2021年11月発行



ホームページ
<https://www.f-wajirohp.jp/>



Facebook
<http://www.facebook.com/wajiroo>



YouTube 福岡和白病院チャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCdS7CXLP3wOz9g-xwivjzQ>



医療連携医のご紹介

医療連携室だより



よしだ内科・外科・足クリニック

初めまして。福岡市東区千早で開業しました「よしだ内科・外科・足クリニック」の吉田と申します。当クリニックは千早駅から徒歩5分に位置する「ガーデンズ千早」の新しい施設内にござります。心臓血管外科医として培った経験を活かし、循環器内科全般特に血管病変に関する予防・診断・治療を最も得意とするクリニックです。

心臓血管外科医そして一般外科医として数多くの手術や外来・救急診療をしていく中で、患者様が循環器疾患だけでなく生活習慣病(高血圧、糖尿病、脂質異常症、動脈硬化)を併存する患者様が多くいらっしゃるため、これまでの病気に対する治療から命に関わる重大な疾患まで幅広くお手伝いしております。これまでに数千例の患者様の足・爪を診察し治療をして参りました。患者様の様々な足の悩みを解決できるように、静脈瘤日帰り治療、巻き爪治療、フットケアからマッサージ



よしだ内科・外科・足クリニック

院長: 吉田 尚平
診療科: 内科・外科・足の加療・爪の加療
自費診療(アンチエイジング点滴など)
各種検診・予防接種
住所: 福岡市東区千早3丁目6-37 GARDENS CHIHAYA 2F
電話: 092-692-5515
駐車場: 完備

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	●	●	-	●	●	●	-
15:30~19:00	●	●	-	●	●	●	-

※●土曜は10:00~18:00までの診療になります。【休診日】水曜日・日祝日

交通アクセス

福工大前駅(JR)から徒歩15分
和白駅(JR)から徒歩10分
和白丘バス停(西鉄)から徒歩3分



社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院

〒811-0213 福岡市東区和白2-2-75 E-mail info@f-wajirohp.jp

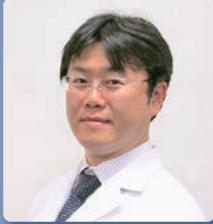
TEL. 092-608-0001(代)

福岡和白 検索

災害拠点病院 開放型病院 地域医療支援病院
基幹型臨床研修指定病院 日本医療機能評価機構認定病院
地域がん診療連携拠点病院

ダヴィンチ・ロボット支援下での前立腺摘出術には、開腹手術に比べ以下のような利点があります。

- ①正確な切除
- ②よりよい神経温存機能が期待できる
(勃起機能の早い回復・排尿機能の高い回復率)
- ③出血の抑制
- ④合併症のリスク低減、傷口の感染リスクの低減
- ⑤入院期間の短縮
- ⑥カテーテル留置期間の短縮
- ⑦より早い回復と日常活動への復帰



Doctor Profile.

腎・泌尿器外科
部長 吉田 育
出身大学：産業医科大学卒

資格

医学博士、日本泌尿器学会指導医・専門医、
日本内分泌学会内分泌代謝科（泌尿器科）専門医、
日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医、
日本内視鏡外科学会技術認定医（泌尿器腹腔鏡）、
Certificate of da Vinci System Training As a Console Surgeon、
産業医、産業医学基本講座修了、
臨床研修指導医、緩和ケア研修会修了

コメント

腎・泌尿器外科では、2015年より腹腔鏡下前立腺全摘出術（LRP）を開始し、2021年までに100例実施しました。2021年腹腔鏡支援ロボット「da Vinci Xi」が導入されロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺摘出術（RALP）を開始しました。これにより近隣の開業医の先生方からのご紹介が更に増え、年内はRALPの予約が入らない状況となっております。
今年度、当院が地域がん診療連携拠点病院に認定されました。その使命を果たすためにもロボット支援手術の導入は避けては通れないものです。福岡市東部・近隣地域の腎・泌尿器の拠点病院として取り組んで参ります。今後根治的前立腺摘出術だけでなく、現在腹腔鏡で行っている腎部分切除、膀胱全摘出術、腎孟形成術にも順次ロボット支援手術を導入していく予定です。呼吸器外科・一般外科でも開始準備中で、更には池友会のグループ病院でも導入が検討されており、池友会の今後の更なる発展が期待されます。

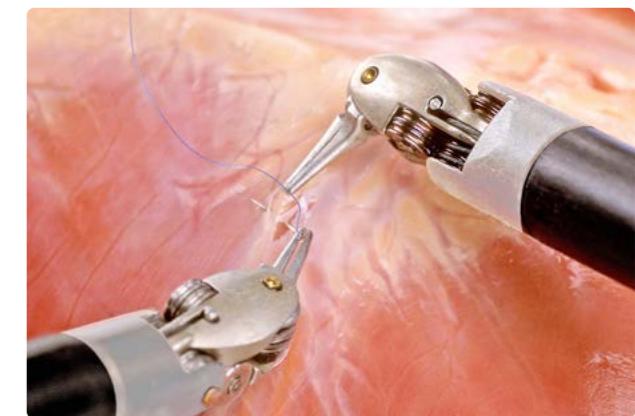


ダヴィンチ

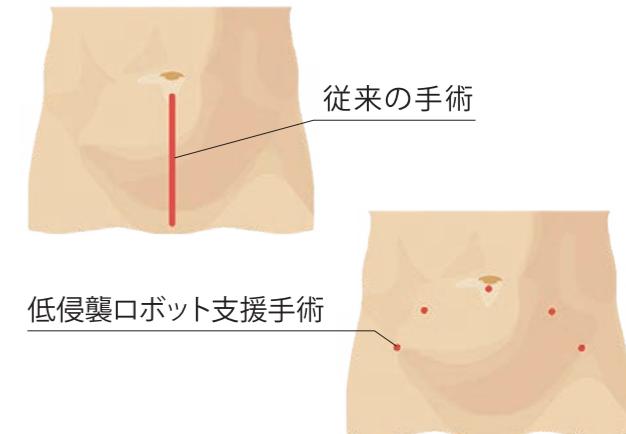
ROBOT MINIMALLY INVASIVE SURGERY

低侵襲ロボット支援手術とは？

低侵襲ロボット支援手術は患者様の負担が少ない腹腔鏡手術と同じようにいくつかの小さな切開部を作り、外科医の操作に従って内視鏡・鉗子を動かして行う内視鏡手術です。「ダヴィンチ」は、高画質で立体的な3Dハイビジョンシステムの手術画像と、人間の手の動きを正確に再現する装置です。こうした特長により、術者は鮮明な画像の下、精緻な手術を行うことができます。



傷の大きさ



低侵襲ロボット支援手術の特長

- ①身体への負担が少ない**
数カ所の小さな切開部から手術を行うため、傷が小さく、出血も抑えられ、手術後の回復が早く、患者様の負担が軽減されます。
- ②鮮明な3D画像**
コンソールモニターには高画質で立体的な3Dハイビジョンシステムの手術画像が映し出されます。
- ③精密な動きを再現**
医師がロボットアームに装着されている鉗子やメスを操作します。ダヴィンチの鉗子はリスト構造を持ち、人間の手より大きな可動域と手ぶれ補正機能を備えています。

当院のがん診療について

前号に続き当院のがん治療の取り組みについて掲載いたします。



ピンクローズの花言葉

温かい心

定例会 年4回 開催予定

- ・乳腺専門医のお話
- ・運動、食事、お薬、リンパ浮腫、下着などについて専門的な立場からのお話

福岡和白病院以外で治療されている方も多数参加されています。まずは見学から始めませんか?

患者会担当窓口:福岡和白病院 がん相談支援センター

地域連携クリティカルパスの活用

「地域連携クリティカルパス」(以下、地域連携パス)とは、地域のかかりつけ医療機関とがん診療連携拠点病院等が患者様の治療経過を共有し安全で質の高い診療を行うための診療計画書のことです。



患者様ご自身が治療内容を確認出来る

- ・いつ、どこで、どのような診察や検査を受ければよいかがわかります。
- ・治療内容を理解し、目標達成に気持ちを向けることができます。
- ・治療状況と病状把握がスケジュール管理として確認できて安心。
- ・療養のために参考となるいろいろな知識や情報が載っています。



がんで悩んだり苦しんだりしていませんか?
同じ病気を持った仲間が共に学び、
共に支え合い多くの方々との交流を深めていく会です。

サロン 月1回 開催予定

- ・お花見や日帰り温泉旅行、みかん狩り
- ・フラワーアレンジメント、ウィッグのお手入れ法
- ・DVD勉強会など

緩和ケア

以前は「緩和ケア」というと、がん終末期の方への最後のケアという意味で捉えられ、最後の治療やケアという誤解がありました。しかし、現在はがんと診断されたその時から緩和ケアは始まります。痛みなどの身体や精神症状などの様々なつらさを緩和できるよう、患者様、ご家族へのお手伝いを行っていきます。

当院では症状緩和のために治療・ケアだけでなくリハビリテーションなども積極的に取り入れ、その人らしさを大切にし、生活のやすさへの援助等を医師・看護師・薬剤師・リハビリスタッフ・栄養士・ソーシャルワーカーらの専門スタッフが協力をしてサポートさせて頂きます。

<当院のサポート体制>

緩和ケア外来

緩和ケア専門の医師と看護師が、がん患者様の抱える症状の緩和に向けて対応いたします。通院中の方へは、自宅療養における支援も行い、安心した療養環境が提供できるよう住宅診療医らとの連携を図っていくことも可能です。

外来日:毎週水曜日

時間:13:30~16:00(要予約)

窓口:がん相談支援センター

緩和ケアチーム

緩和ケア外来とも連携を図り、入院中・外来の患者様が抱える身体・精神的な痛みと共に、日常生活においての悩みや不安、療養環境の調整などをご家族も含めたサポートを行います。

緩和ケアチームは担当医と連携をし、様々な医療スタッフが協力をし、活動を行っています。

いつでもご相談ください!

時間:9:00~16:00(月~土曜)

窓口:がん相談支援センター

がん相談 (がん相談支援センター)

患者様・ご家族だけでなく、がんと共に生活されている方、サポートをされている方、がんに関する情報などを知りたい方など、どなたでも利用することが可能です。相談は面談だけでなく、電話での対応を行っております。お気軽にご相談ください。

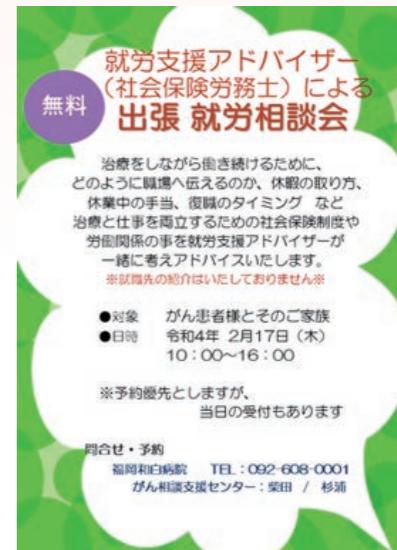
相談できる主な内容

- ・がん治療について
- ・療養のこと
- ・治療費や生活費のこと
- ・セカンドオピニオンについて
- ・からだやこころのこと
- ・がんと就労のこと
- ・緩和ケアについて
- ・介護についてなど

対応時間:9:00~16:30(月~土曜) 相談料:無料

※面談につきましては、事前予約が優先となります。

<お知らせ>



遺伝相談外来

遺伝子の検査を受ける目的や動機は、ひとりひとり違います。遺伝カウンセリングでは、遺伝性腫瘍に関する不安や悩みに対し、臨床遺伝専門医が相談に応じます。そして科学的根拠に基づく正確な医学的情報を分かりやすくお伝えし、理解していただけるようにお手伝いいたします。その上で、十分にお話をうかがいながら、医療技術や医学情報をを利用して問題を解決して行けるよう、心理面や社会面も含めた支援を行います。

季節を感じてリハビリの活力に 食欲の秋！

令和3年 10月13日



10月に入り、秋風が吹き渡る季節となりました。秋と言えば、スポーツの秋、読書の秋、実りの秋など様々ありますが、なんと言っても「食欲の秋」！
今回は、食欲の秋にちなみ、回復期病棟にて、日頃リハビリを頑張って下さっている患者様へ、少しでも活力になればとデザート提供を行いました。デザートは、患者様からの声を基に、少しでも秋を感じることの出来るようマロンケーキ・栗饅頭・プリンを準備させて頂きました。
患者様からは、「美味しいかった♪」「リハビリの力になります！」「病院でケーキが食べれるとは思わなかった！」など喜びの声を頂くことができ、いつもと違った雰囲気を感じてもらえたかなと思います。引き続き、コロナウイルスの状況を考慮しながら、患者様に喜んで頂けるイベントを開催できるよう、病棟スタッフと相談し取り組んでいこうと思います。

「がん等の診療に携わる 医師等に対する緩和ケア研修会」 を開催しました

「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会（以下、緩和ケア研修会といふ）」とは、がん等の診療に携わる全ての医師・歯科医師・緩和ケアに関わる医療従事者の方に基本的な緩和ケアについて正しく理解し、緩和ケアに関する知識、技術、態度を修得することで緩和ケアが診断の時から、適切に提供されることを目的とした研修会です。
当院では、第6回 福岡和白病院緩和ケア研修会を2021年8月29日（日）に開催しました。感染対策を十分に行つた上で開催で、益田院長はじめ、泌尿器科、脳神経外科、消化器内科、2年目研修医など医師10名、看護師1名、作業療法士1名 計12名が無事研修を終えました。



第41回 合同学術研究発表会 開催！



9月26日（日）に第41回合同学術研究発表会が開催されました。今大会も、コロナ禍での開催となるため各施設からのZOOM配信によるWeb開催となりました。
参加施設は、関連病院や関連学校など計16施設にのぼり、医局・看護部・医療技術部・事務部の4部門に分かれ様々な分野の研究内容の発表が行われました。視聴者は各自宅からの視聴となり、実行委員スタッフ等と合わせて総勢約1000名の参加となりました。

各部門で興味深い内容の発表が行われ、特に医局部門では多くの質問や意見が飛び交い貴重なお話をたくさん聞くことができました。看護部門では、当院8F看護スタッフからの演題『コロナ禍の医療現場におけるコミュニケーションの意義について～ハッピーバースデー企画やほっこりカンファレンスを通して～』が銀賞を受賞することができました。

前回大会に続きWeb開催となりましたが、大きな通信トラブル等も起きることなくスムーズに進行することができて私たち実行委員もほっとしています。

参加された皆さん、ありがとうございました。次回の開催も多くの参加と興味深い演題をお待ちしています。

放射線科 森川（合同学術研究発表会実行委員スタッフ）



認定看護師

活動紹介

療養環境部門

当院の認定看護師は、現在12分野15名が在籍しています。その中で、クリティカルケア部門、療養環境部門、生活支援部門、がん支援部門の4つに分かれて活動しています。
今回は、感染管理、糖尿病看護、認知症看護の3分野で構成されている療養環境部門について紹介します。
患者様にとって病院の療養環境は日常生活を行う空間です。私達は、看護師や医師、多職種とコミュニケーションをとりながら患者様のその空間を安全・安心・安楽な療養環境にする事を目指し日々支援を行っております。



第31回 日本心疾患インターベンション治療学会 当院からWebにてライブ配信を行いました



令和3年10月1日（金）・2日（土）に北九州国際会議場およびWEB会場にて、CVIT九州・沖縄地方会が開催されました。

CVITは、心血管疾患の患者様に対する安全なカテーテル治療の発展や診断治療技術の向上、ならびに心血管疾患の予後改善を目標とした学術研究機関です。

10月1日（金）、当院からWebでのライブ配信を行いました

（写真）。芹川が心臓カテーテル治療を1例施行し、当スタッフの協力を得て手技も無事終了し患者様は翌日軽快退院しています。また学会にも循環器内科医師 有田、芹川、仲村、伊元、河原が、また臨床工学技士 山中、守永が参加し会を盛り上げました。
和白病院循環器内科は、これからも医師、メディカルスタッフ共に積極的に学会に参加し発信して行きます。